

iPS細胞ストックのご案内

2026/1/5時点



公益財団法人
京都大学iPS細胞研究財団

はじめに～iPS細胞ストック使用に関する注意事項～

1. 当財団のiPS細胞ストックは、倫理審査委員会（IRB等）による倫理審査など、現地法制を適切に遵守した研究計画に対してのみ提供を実施しております。
2. iPS細胞ストックをご使用いただく場合、使用希望者は、国立大学法人京都大学が保有するiPS細胞に関する特許の管理を行うiPSアカデミアジャパン株式会社と、研究目的、あるいは臨床目的等のライセンス契約を別途締結していただく必要があります。特許に関する詳細は直接*IPSアカデミアジャパン社*にご連絡ください。また、その他のiPS細胞ストックに関する第三者特許については、iPS細胞の細胞提供時までを目途に別途当財団より情報提供を実施いたします。使用希望者はご自身の責任において侵害予防調査等を行った上、各国にて適切な対応をご検討ください。
3. iPS細胞ストックの提供後も、iPS細胞ストックの所有権は当財団に帰属いたします。iPS細胞ストックの所有権を取得する必要がある場合は、別途当財団と所有権譲渡契約を締結いただく必要があります。その場合も、第三者へのiPS細胞ストックの再譲渡は原則禁止される旨、ご承知おきください。
4. 新規の使用希望者が臨床グレードのiPS細胞ストック（以下、臨床用株）のご利用を希望される場合、バイアル数の観点から、原則、まずは当財団が臨床用株から拡大培養した研究グレードのiPS細胞ストック（以下、研究用株）をご申請・ご利用いただき、培養や分化誘導に問題がないかご確認をお願いしております。この場合、研究用株の分化誘導に関する免疫染色等の結果のご提出をいただくことで、臨床用株の使用に関する審査を進めることができます。なお、HLAゲノム編集iPS細胞ストック（QHJI14s04/AB II KO株）、センダイウイルスiPS細胞ストック（KTRH株）については、当財団として研究用株の設定をしておりませんので、最初から臨床用株をご使用いただくことが可能です。

本資料の構成

1. 京都大学iPS細胞研究財団について

- 組織概要 / 活動目的 / 細胞調製施設

2. iPS細胞ストックとは

- 概略 / iPS細胞ストックの種類 / 臨床用と研究用株の違い

3. ご使用いただけるiPS細胞株

- 細胞株一覧 / バイアル提供料 / (参考) 臨床研究事例等

4. ご申請手続き

- お手続きの流れ / 必要書類 / お問い合わせ先

1. 京都大学iPS細胞研究財団について

組織概要

当財団は京都大学iPS細胞研究所からスピンアウトし、2020年から現在の活動を開始しております。

名称	公益財団法人 京都大学iPS細胞研究財団
英名	CiRA Foundation (CiRA-F)
設立者	国立大学法人 京都大学
設立日	2019/9月 一般財団法人設立 2020/4月 公益財団法人(内閣府認定)へ移行
理事長	山中 伸弥 (京都大学iPS細胞研究所 名誉所長／教授)
所在地	京都市左京区聖護院川原町53番地
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ iPS細胞及びiPS細胞由来分化細胞の製造、品質評価、細胞保管管理 ✓ 細胞調製施設の管理・運営 ✓ 研究開発 ✓ 研究開発及び臨床応用に対する総合的支援 ✓ 教育訓練及び人材育成 ✓ 産学官及び国際交流等を通じた情報共有及び情報発信 など



京都大学iPS細胞研究財団
(iPS財団)



CiRA Foundation

2020年4月1日

公益財団法人として活動開始



CiRA Foundation / Confidential

iPS財団の役割は「産業界への橋渡し」

当財団は最適なiPS細胞技術を、良心的な価格で届けることを通じ、研究機関と産業界の橋渡しをしています。



細胞調製施設/Facility for iPS Cell Therapy (FiT)

当財団では京都大学敷地内にあるGMPに準拠のiPS細胞調製施設/FiTにてiPS細胞を製造しております。

■ 許認可取得状況

- 医薬品医療機器等法（薬機法）に基づく
再生医療等製品の製造業許可を取得
許可番号：26FZ110001
- 再生医療等安全確保法に基づく
細胞培養加工施設として日本初の許可を取得
施設番号：FA5200001
(施設番号はiPS財団設立時に再度取得した後のもの)



■ 経験

GMPに準拠した品質システムや設備のもと、臨床グレードのiPS細胞およびiPS細胞由来分化細胞の製造や品質試験における豊富な経験を有しています。



2. iPS細胞ストックとは

iPS細胞ストック®概要



当財団では、HLAホモドナーを中心としたドナー血液由来の臨床グレードのiPS細胞を「iPS細胞ストック」®として大量作製・保存し、企業や研究機関の皆さんに良心的な価格で提供を行っております。オーダーメイドでiPS細胞を作製するのに比べ、時間や費用を大幅に削減でき、迅速に提供・使用できるメリットがございます。

現在、複数の臨床研究で使用されています

海外でも当財団の製造したiPS細胞ストック由来分化細胞を用いた治験が進められています。

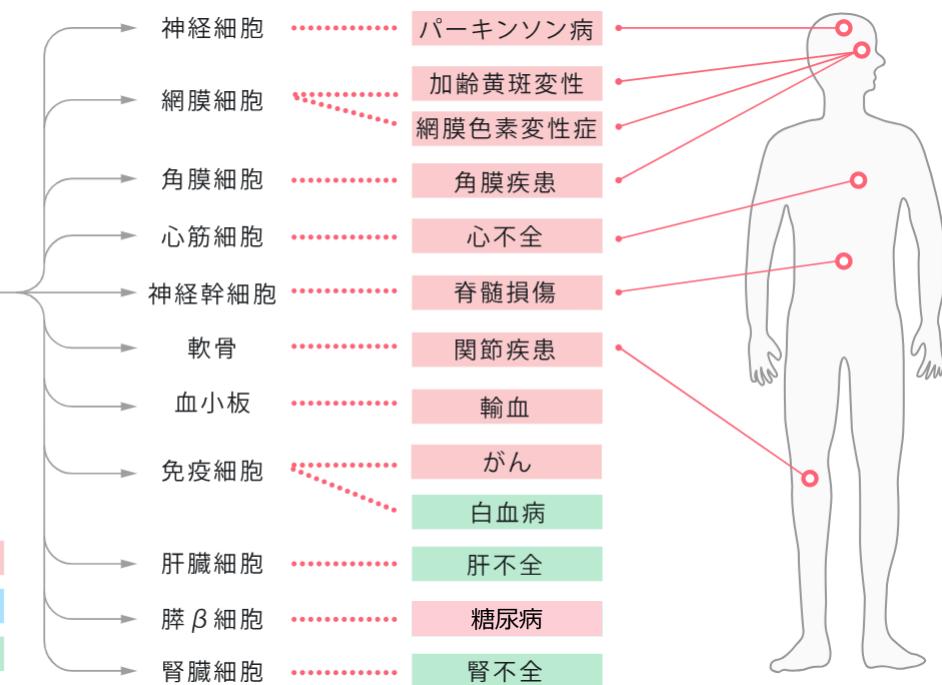


iPS細胞ストック

臨床研究・実施中

臨床研究・承認済

臨床研究・計画中



複数の臨床用株を提供しています

複数の細胞株から貴機関の分化誘導プロトコルにあった細胞株を検証・選定いただけます。

■ HLAホモiPS細胞ストック

7 ドナーから臨床用株を 27 株提供中

■ HLAゲノム編集iPS細胞ストック

1 ドナーから臨床用株を 3 株提供中

■ センダイウイルスiPS細胞ストック

1 ドナーから臨床用株を 2 株提供中

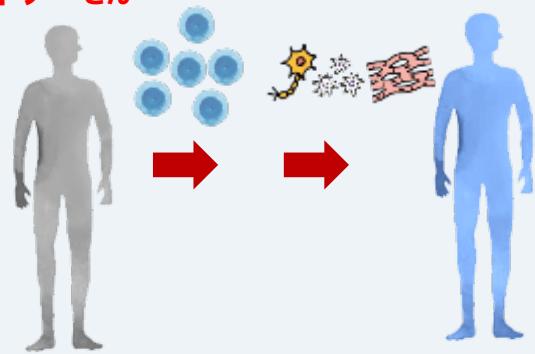


再生医療用iPS細胞ストックの種類

当財団では、臨床用のiPS細胞ストックとして、大きく3つの同種（他人）由来iPS細胞を提供しております。また、研究用に使用可能で、倫理審査等の煩雑さを低減させたCFiSシリーズも用意しております。

HLAホモiPS細胞ストック

HLAホモ
ドナーさん



HLA-A, HLA-B, HLA-DRがホモである健康なドナーの血液由来。
免疫拒絶を受けにくい。

日本人の40%をカバー

[具体的な細胞株はこちら](#)

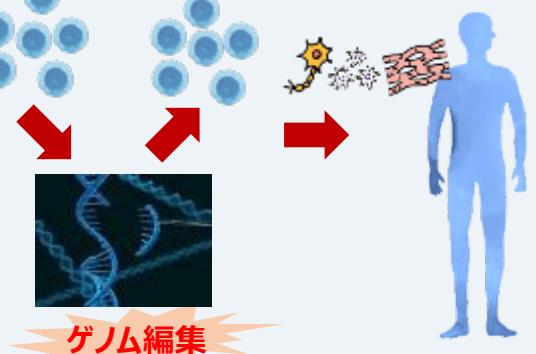
健常人由来研究用iPS細胞 (CFiSシリーズ※2)

創薬や病態解明などの再生医療以外の用途にもご使用可能。
倫理審査などの、細胞入手にかかる煩雑さを低減させた研究用iPS細胞で、
当財団ホームページ記載の約款に同意いただくことで利用可能。

※2:臨床グレードのものは製造販売しておりません。

HLAゲノム編集iPS細胞

HLAホモ
ドナーさん



HLAホモiPS細胞ストックのHLA-A, B, CIITAをゲノム編集(QHJIドナー由来, HLA-Cは編集なし)。

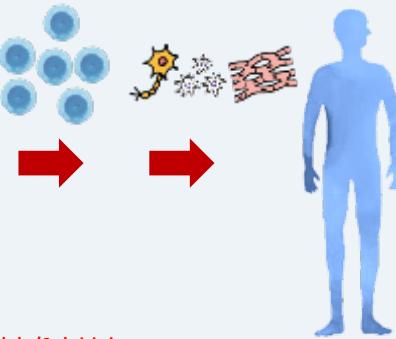
免疫拒絶反応のリスクをさらに低減

[具体的な細胞株はこちら](#)

センダイウイルスiPS細胞ストック

米国の
ドナーさん※1

患者さん



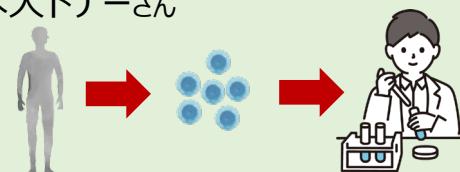
※1:HLAホモドナーではありません

センダイウイルス(SeV)ベクターを利用。
米国のドナーの末梢血から作製したiPS細胞。

日米欧の規制に準じたドナー適格性

[具体的な細胞株はこちら](#)

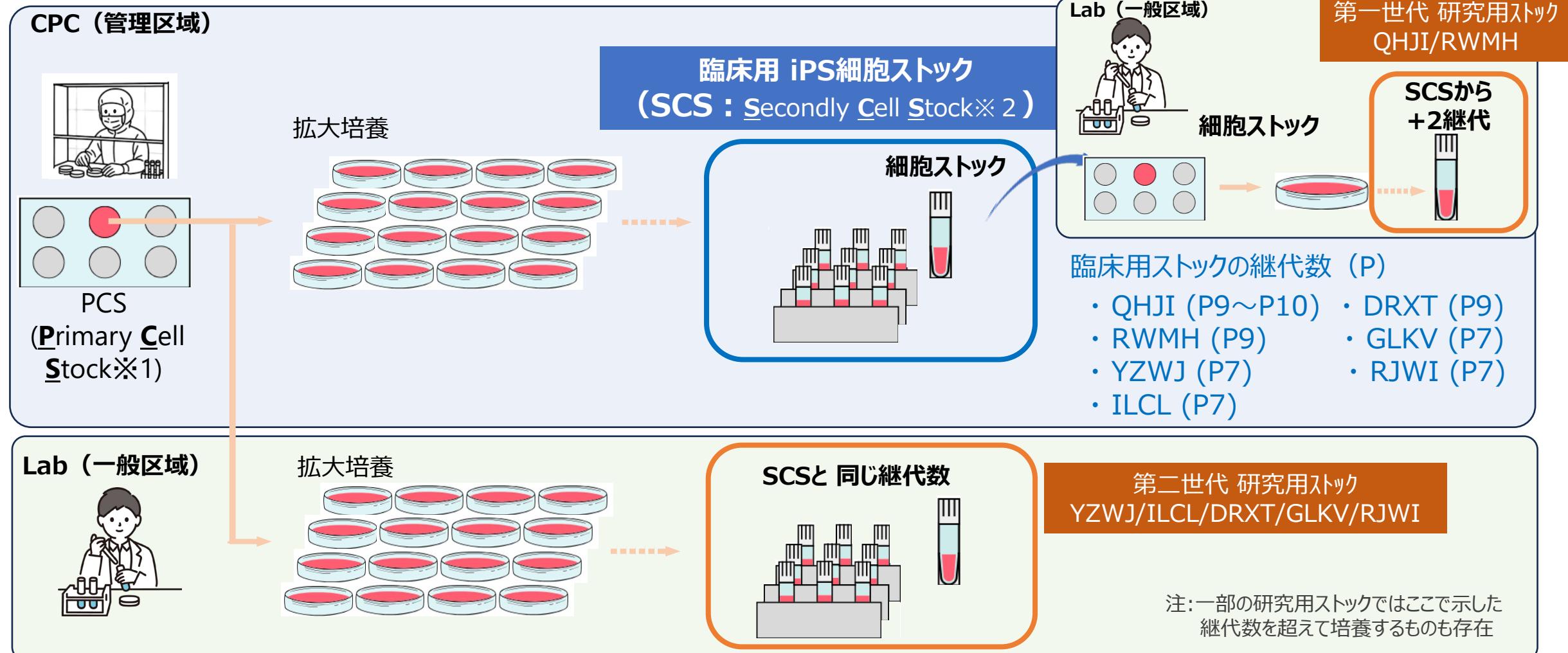
HLAホモではない
日本人ドナーさん



- ・細胞を迅速に入手可能
- ・創薬等への利用も可能

臨床用/研究用細胞ストックの違い

当財団で提供する細胞株のうち、臨床用株はCPC（管理区域内）で製造しており、研究用株は一般区域の研究室にて製造しております。



※1 PCS:iPS細胞樹立直後のストック

※2 SCS:PCSを拡大培養した2次ストック

3. ご使用いただけるiPS細胞株

提供中のHLAホモiPS細胞ストック (末梢血由来①)

末梢血由来 HLA: Homozygous (HLA-A-B-DRB1) Reprogramming Vector: Episomal Plasmid	臨床用株	研究用株
Donor: QHJI (24:02-52:01-15:02)	<u>QHJI01s01</u> ※	Ff-I01s01
	<u>QHJI01s04</u>	Ff-I01s04
	<u>QHJI14s03</u>	Ff-I14s03
	<u>QHJI14s04</u>	Ff-I14s04
	<u>QHJI 01s04_MCB</u>	Ff-I01s04
	<u>QHJI 14s04_MCB</u>	Ff-I14s04

※ このiPS細胞株はBCORおよびBRD3遺伝子のゲノム変異が検出されました。

✓ 下線を引いた細胞株は既に国内の複数の治験・臨床研究で使用されています。

(詳細はこれらの論文をご参照ください : "[Yoshida et al., Med \(2022\) DOI : 10.1016/j.medj.2022.10.003](#)".)

✓ QHJI01s04株とQHJI14s04株は米国食品医薬品局(FDA)のドラッグマスターファイルに登録されています。

✓ QHJI01s04株は米国IND申請において、承認実績のある細胞株です。

✓ ドナーQHJIは追加試験を実施し、FDAのドナー適格性要件を満たしていることが確認されています。

提供中のHLAホモiPS細胞ストック (末梢血由来②)

末梢血由来 HLA: Homozygous (HLA-A-B-DRB1) Reprogramming Vector: Episomal Plasmid	臨床用株	研究用株
Donor: RWMH (33:03–44:03–13:02)	RWMH09s01	Ff-MH09s01
	RWMH15s01	Ff-MH15s01
	RWMH15s02	Ff-MH15s02
	RWMH23s01	Ff-MH23s01
Donor: DRXT (24:02–07:02–01:01)	DRXT18s02	Ff-XT18s02
	DRXT18s03	Ff-XT18s03
	DRXT28s04	Ff-XT28s04
	DRXT28s05	Ff-XT28s05
Donor: RJWI (24:02–54:01–04:05)	DRXT28s17	Ff-XT28s17
	RJWIs03	Ff-WIs03

QHJI株/HLAホモiPS細胞ストック

臨床での使用実績が多いiPS細胞ストックです。

グレード	臨床用株	マスターセルバンク	研究用株
細胞株	<u>QHJI01s04</u> QHJI14s03 <u>QHJI14s04</u>	QHJI 01s04_MCB QHJI 14s04_MCB	Ff-I01s04 Ff-I14s03 Ff-I14s04
提供料	非営利機関: 無償 営利機関: 10万円／本	非営利機関: 無償 営利機関: 20万円／本	非営利機関: 無償 営利機関: 5万円／本



由来細胞	ヒト末梢血 (国内健常人ドナー由来)
初期化方法	エピソーマルプラスミド
特徴	<ul style="list-style-type: none">✓ <u>下線を引いた細胞株</u>は既に国内の複数の治験・臨床研究で使用されています。 (詳細はこちらの論文をご参照ください: "Yoshida et al., Med (2022) DOI : 10.1016/j.medj.2022.10.003".)✓ QHJI01s04株とQHJI14s04株は米国食品医薬品局(FDA)のドラッグマスターファイルに登録されています。✓ QHJI01s04株は米国IND申請において、承認実績のある細胞株です。✓ ドナーQHJIは追加試験を実施し、FDAのドナー適格性要件を満たしていることが確認されています。
備考	HLA-A、HLA-B、HLA-C、HLA-DR、HLA-DQ、HLA-DPの6座ホモ

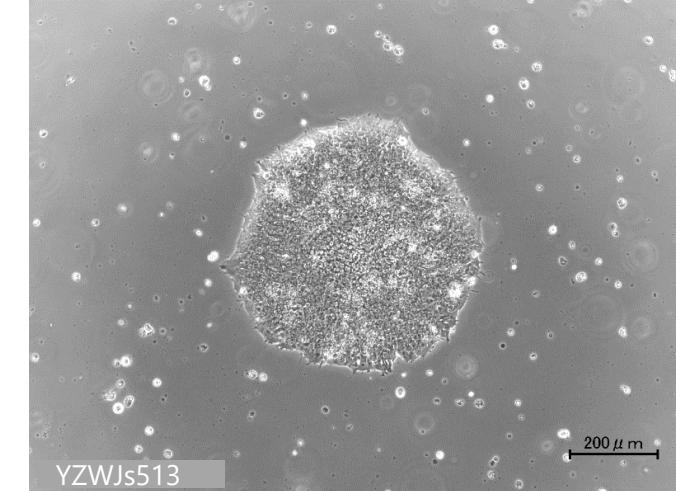
提供中のHLAホモiPS細胞ストック (臍帯血由来)

臍帯血由来 HLA: Homozygous (HLA-A-B-DRB1) Reprogramming Vector: Episomal Plasmid	臨床用株	研究用株
Donor: YZWJ (24:02-52:01-15:02)	YZWJs513	Ff-WJs513
	YZWJs516	Ff-WJs516
	YZWJs524	Ff-WJs524
	YZWJs527	Ff-WJs527
	YZWJs531	Ff-WJs531
Donor: ILCL (24:02-52:01-15:02)	ILCLs14	Ff-CLs14
	ILCLs21	Ff-CLs21
	ILCLs23	Ff-CLs23
	ILCLs31	Ff-CLs31
Donor: GLKV (33:03-44:03-13:02)	GLKVs09	Ff-KVs09
	GLKVs13	Ff-KVs13
	GLKVs16	Ff-KVs16
	GLKVs31	Ff-KVs31

YZWJ株/HLAホモiPS細胞ストック

臨床での使用実績があるiPS細胞ストックです。

グレード	臨床用株	研究用株
細胞株	<u>YZWJs513</u> YZWJs516 <u>YZWJs524</u> YZWJs527 YZWJs531	Ff-WJs513 Ff-WJs516 Ff-WJs524 Ff-WJs527 Ff-WJs531
提供料	非営利機関: 無償 営利機関: 10万円／本	非営利機関: 無償 営利機関: 5万円／本



由来細胞	ヒト臍帯血（健常人ドナー由来）
初期化方法	エピソーマルプラスミド
特徴	✓ <u>下線を引いた細胞株</u> は既に国内の複数の治験・臨床研究で使用実績あり。 (詳細はこちらの論文をご参照ください: " Yoshida et al., Med (2022) DOI : 10.1016/j.medj.2022.10.003 ".)
備考	HLA-A、HLA-B、HLA-C、HLA-DR、HLA-DQ、HLA-DPの6座ホモ

提供中のHLAゲノム編集iPS細胞

臨床用iPS細胞ストックにゲノム編集を施したiPS細胞です。

HLA:ゲノム編集 (CRISPR-Cas9) Reprogramming Vector: Episomal Plasmid	臨床用株	研究用株
Derived from QHJI14s04	QHJI14s04/AB II -KO-03	臨床用株を研究用途でご使用いただけます。
	QHJI14s04/AB II -KO-11	
	QHJI14s04/AB II -KO-12	

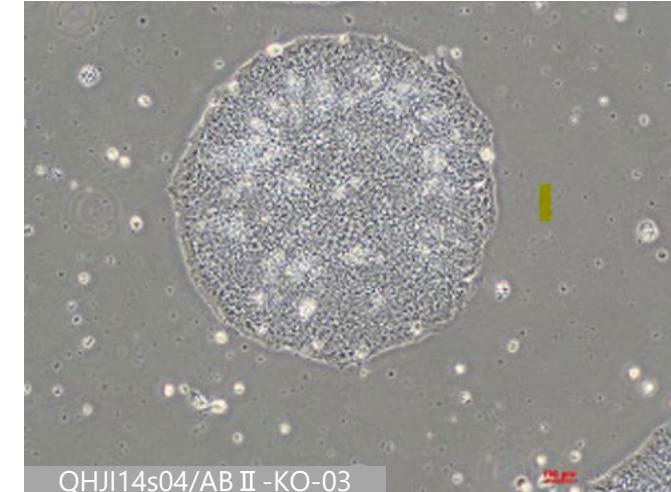
研究用iPS細胞ストックにゲノム編集を施したiPS細胞です。

HLA:ゲノム編集 (CRISPR-Cas9) Reprogramming Vector: Episomal Plasmid	臨床用株	研究用株
Derived from Ff-I01s04		Ff-I01s04-AB II-KO-16 Ff-I01s04-AB II-KO-50 Ff-I01s04-AB II-KO-54 Ff-I14s04-AB II-KO-7 Ff-I14s04-AB II-KO-13 Ff-I14s04-AB II-KO-24
Derived from Ff-I14s04	製法やコロニーを含めて完全に対応する 臨床用株はございません。	
Derived from Ff-XT28s05 *CiRA/堀田研究室にて樹立		Ff-XT28s05-cont *この細胞はコントロール用株のため、ゲノム編集を実施しておりません。 Ff-XT28s05-ABo_To

QHJI株/HLAゲノム編集iPS細胞ストック

QHJI株のHLAゲノムを編集したiPS細胞ストックです。

グレード	臨床用株	研究用株
細胞株	QHJI14s04/AB II -KO-03 QHJI14s04/AB II -KO-11 QHJI14s04/AB II -KO-12	
提供料	非営利機関: 無償 営利機関: 20万円／本	臨床用株を研究用途で ご使用いただけます。



由来細胞	ヒト抹消血（健常人ドナー由来）
初期化方法	エピソーマルプラスミド
ゲノム編集方法	CRISPR-Cas9
特徴	<ul style="list-style-type: none">HLA-A遺伝子、HLA-B遺伝子及び、HLA-クラスIIの発現に重要なCIITA遺伝子をなくしたiPS細胞株。ゲノム編集技術を用いた臨床応用例は国内で先例なし（細胞の安全性や品質の確認が必要）。初回から臨床用株を研究用途で使用可能。

提供中のセンダイウイルスiPS細胞ストック

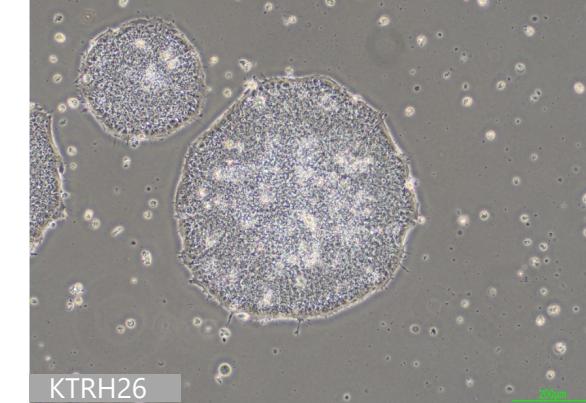
未梢血由来 Reprogramming Vector: Sendai Virus	臨床用株	研究用株
Donor: KTRH	KTRH05	臨床用株を研究用途でご使用いただけます。
	KTRH26	

- ✓ 米国の成人ドナーにご協力いただき、米国の認証を受けた施設で採血および適格性確認検査を実施しています。
- ✓ 米国の成人ドナーの末梢血から製造しており、ドナー適格性について日米欧の規制に対応しています。

KTRH株/センダイウイルスiPS細胞ストック

日米欧の規制に準じたドナー適格性をもつiPS細胞ストックです。

グレード	臨床用株	研究用株
細胞株	KTRH05 KTRH26	
提供料	非営利機関: 無償 営利機関: 10万円／本	臨床用株を研究用途で ご使用いただけます。



由来細胞	ヒト末梢血 (米健常人ドナー由来)
初期化方法	センダイウイルス (CytoTune®)
特徴	<ul style="list-style-type: none">✓ 日米欧のドナー適格性基準に準拠。✓ 樹立にはエピソーマルプラスミドではなくセンダイウイルスを使用。 (センダイウイルスの残存については検出限界以下であることを確認しています。)✓ 臨床用株と同様の品質・施設管理下で製造。✓ 初回から臨床用株を研究用途で使用可能。
備考	HLA-Aのみホモ、Blood type: O



非営利機関

(大学、研究機関等)

営利機関

(製薬企業、スタートアップ等)

HLAホモiPS細胞ストック

-研究用株	:	無料	50,000円/1バイアル
-臨床用株	:	無料	100,000円/1バイアル

HLAゲノム編集iPS細胞ストック

-研究用株	:	無料	100,000円/1バイアル
-臨床用株	:	無料	200,000円/1バイアル

センダイウイルスiPS細胞ストック

-臨床用株のみ	:	無料	100,000円/1バイアル
---------	---	----	----------------

- ✓ 弊財団が細胞輸送の手配を行った場合は、営利・非営利機関とも、上記バイアル提供費用に加え細胞輸送に関する費用（実費）をご負担いただきます。
- ✓ 提供先機関において、iPS細胞ストックを利用して開発された製品が各国の規制当局より薬事承認され上市した場合は、別途スライドにて記載させていただくストック等維持管理料が別途発生いたします。
- ✓ 臨床用株については本数が限られておりますので、原則弊財団が提供する研究用株での分化誘導実績のある機関にのみ提供しております。ただしセンダイウイルスiPS細胞ストック、HLAゲノム編集iPS細胞ストックについては、各臨床株から拡大培養した研究用株の設定がございませんので、初回から臨床用株をご使用いただけます。

【ご参考】iPS細胞ストック由来の臨床研究

2025年11月時点

研究責任者／スポンサー	iPS細胞株	細胞種（製品形態）	疾患対象	現在のステージ
高橋 政代（神戸市立神戸アイセンター病院）	QHJI01s04	網膜色素上皮（細胞懸濁液）	網膜色素上皮（RPE）不全症	臨床研究：終了
		網膜色素上皮（細胞ストリップ）	網膜色素上皮（RPE）不全症	臨床研究：実施中
平見 泰彦（神戸市立神戸アイセンター病院）	QHJI01s04	網膜シート	網膜色素変性症	臨床研究：終了
高橋 淳（京都大学）	QHJI01s04	ドーパミン前駆細胞	パーキンソン病	臨床試験：終了
澤 芳樹（大阪大学大学院医学系研究科）	QHJI14s04	心筋細胞（細胞パッチ）	虚血性心筋症	臨床試験：実施中
岡野 栄之（慶應義塾大学医学部）	YZWJs513	神経幹／前駆細胞（細胞懸濁液）	亜急性期脊髄損傷	臨床研究：実施中
西田 幸二（大阪大学大学院医学系研究科）	YZWJs524	角膜上皮（同種細胞シート）	角膜上皮幹細胞疲弊症	臨床研究：終了
妻木 範行（京都大学）	QHJI01s04	軟骨細胞（軟骨組織）	膝関節軟骨損傷	臨床研究：終了
福田 恵一（慶應義塾大学医学部）	QHJI14s04	心室心筋細胞（球状細胞）	心不全（拡張型心筋症）	臨床研究：終了
Heartseed株式会社	QHJI14s04	心室心筋細胞（球状細胞）	心不全（虚血性心疾患）	臨床試験：実施中
		心室心筋細胞（球状細胞）	心不全（虚血性心疾患および拡張型心筋症）	臨床試験：実施中
金子 新（京都大学）	QHJI01s04	自然リンパ球（NK細胞）	卵巣がん	臨床試験：実施中
株式会社メガカリオン	YZWJs513	血小板	血小板減少症	臨床試験：終了
榛村 重人（慶應義塾大学医学部）	QHJI01s04	角膜内皮細胞（細胞懸濁液）	水疱性角膜症	臨床研究：終了
宮川 繁 (大阪大学医学部附属病院 国立循環器病研究センター)	QHJI 14s04	ヒトiPS細胞由来心筋細胞シート	非虚血性拡張型心筋症	臨床試験：実施中
住友ファーマ株式会社	QHJI 01s04	ヒトiPS細胞由来網膜色素上皮(RPE)細胞	網膜色素上皮裂孔	臨床試験：実施中
矢部 大介（京都大学）	非開示	膵島細胞	1型糖尿病	臨床試験：実施中
iHeart Japan株式会社	非開示	心血管細胞多層体	拡張型心筋症	臨床試験：実施中

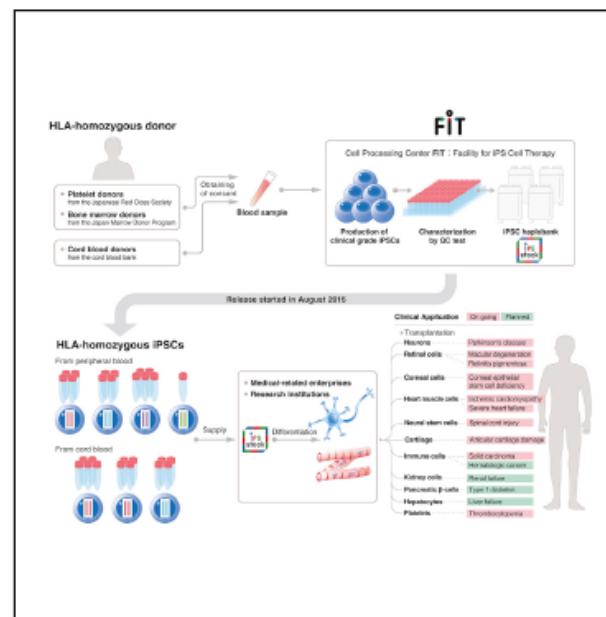
【ご参考】iPS細胞ストックに関する研究論文

Med

CelPress
OPEN ACCESS

Clinical and Translational Resource and Technology Insights

A clinical-grade HLA haplobank of human induced pluripotent stem cells matching approximately 40% of the Japanese population



Producing haplobanks of human iPSC lines from HLA-homozygous donors is a potentially cost- and time-effective strategy to match large populations. Here, Yoshida et al. construct a clinical-grade haplobank of 27 iPSC lines matching 40% of the Japanese population, which have already been used in more than 10 clinical trials.

Shinsuke Yoshida, Tomoaki M. Kato, Yoshiko Sato, ..., Masayoshi Tsukahara, Naoko Takasu, Shinya Yamanaka
masayoshi.tsukahara@cira-foundation.or.jp (M.T.)
yamanaka@cira.kyoto-u.ac.jp (S.Y.)

Highlights
A clinical-grade iPSC haplobank was established from seven HLA-homozygous donors

After screening and release tests, 27 iPSC lines were selected for clinical usage

Pluripotency of iPSC lines was confirmed in vitro

The established iPSC haplobank has been used in more than 10 clinical trials

Table 3. Progress in iPSC stock-based cell therapy

Sponsor/investigator	iPSC line	Cell type	Disease indications	Current stage	Reference
Masayo Takahashi (RIKEN)	QHJI01s04	retinal pigment epithelium (cell suspension)	age-related macular degeneration	clinical research ^a : completed	Sugita et al. ^{20,21}
Masayo Takahashi (Kobe City Eye Hospital)	QHJI01s04	retinal pigment epithelium (cell suspension)	RPE impaired disease	clinical research: terminated	Maeda et al. ²²
		retinal pigment epithelium (cell strips)	RPE impaired disease	clinical research: recruiting	Nishida et al. ²³
Yasuhiko Hirami (Kobe City Eye Hospital)	QHJI01s04	retinal sheets ^b (retinal tissue containing photoreceptors)	retinitis pigmentosa ^b	clinical research ^b : active, not recruiting	Tu et al. ²⁴ Kuwayahara et al. ²⁵
Jun Takahashi (Kyoto University)	QHJI01s04	dopaminergic progenitor cells ^c (cell aggregate)	Parkinson's disease ^c	clinical trial ^c : active, not recruiting	Kikuchi et al.; ²⁶ Takahashi; ²⁷ Doi et al. ²⁸
Yoshiki Sawa (Osaka University Graduate School of Medicine)	QHJI14s04	cardiomyocytes (Cell patch)	ischemic cardiomyopathy	clinical trial: recruiting ^d	Kawamura et al.; ²⁹ Kashiyama et al.; ³⁰ Ito et al. ³¹
Hideyuki Okano (Keio University School of Medicine)	YZWJs513	neural stem/progenitor cells (cell suspension)	spinal cord injury at subacute stage	clinical research: recruiting	Nakamura and Okano; ³² Sugai et al. ³³
Kohji Nishida (Osaka University Graduate School of Medicine)	YZWJs524	corneal epithelium (allogeneic, cell sheet)	corneal opacity due to limbal stem cell deficiency	clinical research: completed	Hayashi and Nishida et al. ^{34, 35}
Noriyuki Tsumaki (Kyoto University)	QHJI01s04	chondrocytes (cartilage tissue)	knee articular cartilage damage	clinical research: active, not recruiting	Takei et al.; ³⁶ Chen et al.; ³⁷ Yamashita et al. ³⁸
Keiichi Fukuda (Keio University School of Medicine)	QHJI14s04	ventricular cardiomyocytes (spheres)	heart failure (dilated cardiomyopathy)	clinical research: recruiting	Hattori et al.; ³⁹ Tohyama et al. ^{40,41}
Heartseed	QHJI14s04	ventricular cardiomyocytes (spheres)	heart failure (ischemic heart disease)	clinical trial: recruiting ^e	Hattori et al.; ³⁹ Tohyama et al. ^{40,41}
Shin Kaneko (Kyoto University)	QHJI01s04	innate lymphoid cells (natural killer cells)	ovarian cancer	clinical trial: recruiting	Ueda et al. ⁴²
Megakaryon	YZWJs513	platelets	Thrombocytopenia	clinical trial: recruiting	Ito and Nakamura et al. ⁴³
Shigeto Shimmura (Keio University School of Medicine)	QHJI01s04	corneal endothelial cell (cell suspension)	bullous keratopathy	clinical research: recruiting	Hatou et al. ⁴⁴

Yoshida et al., Med (2022) DOI : 10.1101/j.medj.2022.10.003

CiRA Foundation / Confidential

4.ご申請手続き

iPS細胞ストック利用までの流れ

1 要件のご確認とユーザー登録

数日

- ✓ 新規のユーザー様のみ確認させていただいております。

2 申請書のご提出

1か月程度

- ✓ 研究計画ごとに申請システムを通してご提出ください。

3 iPS細胞ストックの使用に関する審査委員会 (ストック委員会)による案件審査

1~3か月程度

4 契約締結

数週間

- ✓ 当財団と共同研究契約をご締結いただきます。
- ✓ 営利機関の方は別途iPSアカデミアジャパン社とライセンス締結をお願いいたします。

5 iPS細胞ストックの発送・お支払い

iPS細胞ストックの利用手続詳細は当財団のHPをご参照ください※。

<https://www.cira-foundation.or.jp/j/provision-of-ips-cells/manufacturing-flow/>

※CFiS株ご利用時の手続きは異なります。詳しくは下記HPをご参照ください。

<https://www.cira-foundation.or.jp/j/provision-of-ips-cells/research-hipscls-flow/>

新規申請時に必要な書類

新規でご申請頂く際には当財団HPをご確認の上、必要書類をご準備ください。

	必要書類	注意事項
申請前	(様式00)新規確認書	書式を以下HPに掲示しております。ご記載の上、Eメールにてご提出ください。 https://www.cira-foundation.or.jp/j/provision-of-ips-cells/manufacturing-flow/
	新規申請書 / 変更申請書	オンライン申請システム上で作成・提出いただけます。
	研究計画書 ※	倫理審査委員会等に提出済、または提出予定の研究計画書をご準備ください。 (日本以外での研究実施の場合) 倫理審査委員会等の審査が不要の場合、最低限以下の内容を含む研究概要をA4用紙1枚程度（2000文字程度）で作成ください。 • 対象としている疾患 • 分化させる細胞 • 研究計画のマイルストンや目標
申請時	倫理承認書・機関長許可書※	倫理承認書等をご準備ください。 (日本以外での研究実施の場合) 倫理審査委員会等の審査が不要の場合、倫理審査委員会等からの不要通知や不要であることを証するメール、あるいは以下のようなエグゼンプションレターをご準備ください。
	提供を受けたiPS細胞ストックの管理体制に関する文書※	当財団から提供予定のiPS細胞ストックについて、貴組織内での管理体制を記載いただいたファイルをご準備ください。 以下にテンプレートを準備しておりますので、ご参照ください。 https://www.cira-foundation.or.jp/j/assets/file/provision-of-ips-cells/ips stock management system ja.docx
	(初めてiPS細胞ストックを使用される機関が含まれる場合のみ) ※ • 研究責任者の略歴 • 研究責任者の所属する機関の概要 • ヒトiPS細胞の培養経験かつ目的の細胞への分化がわかる研究実績を示す資料(論文・研究発表資料等)	以下の内容を含む論文やポスター発表等の資料をご準備ください。 もし論文やポスター発表等がない場合は、該当する分化誘導等のデータ（フローサイトメトリー等）をご準備ください。 • ヒトiPS細胞の使用の経験 • ヒトiPS細胞から目的の細胞への分化誘導の経験

※ iPS細胞を使用する共同研究機関（分担機関）がある場合、その機関に関する書類もご準備ください。

※情報開示につき、秘密保持契約等が必要な場合はご相談ください。

■ iPS細胞ストックに関するお問い合わせ

ips-stock-shinsa*cira-foundation.or.jp

* を @ に変え、Eメールにてお問い合わせください。



■ 研究用マテリアルに関するお問い合わせ

minnano-saibou*cira-foundation.or.jp

* を @ に変え、Eメールにてお問い合わせください。





www.cira-foundation.or.jp

公益財団法人
京都大学iPS細胞研究財団
606-8397 京都市左京区聖護院川原町53番地



Public Interest Incorporated Foundation
CiRA Foundation
53 Shogoin kawahara-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8397, Japan.